

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	キリスト教と文化研究センター
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. センター長、副長がコーディネーターとなり、少なくとも3つの研究プロジェクトを設定する。	→各プロジェクトの研究会やフォーラムを各学期少なくとも2回行う。	B	B	B		
2. 活動の迅速な報告のため、キリスト教と文化研究センターのホームページを充実する。	→キリスト教と文化研究センターのホームページを月1回更新する。	C	B	B		
3. フォーラムや講演、また研究プロジェクトでの発表は、本として発行する。	→研究雑誌を年1冊発行し、書籍を年1冊出版し、成果を広く問うていく。	B	B	B		
4. 公募研究費を申請する。	→公募研究費を年1回申請する。	D	D	D		
2010年度以降に設定した「目標」						
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	「ミナト神戸に宗教多元主義を探る——〈海のシルクロード〉の文化と宗教的共生」研究プロジェクトは、フィールドワーク4回、研究会を1回行い、「自然の問題と聖典」研究プロジェクトは、研究会を4回行い、「関西学院におけるキリスト教主義教育の展開」プロジェクトは、研究会を2回行った。
目標2	ホームページは、月1回は更新しており、研究会やフォーラム、講演会の案内をしている。
★ 目標3	紀要『関西学院大学キリスト教と文化研究』第13号を2012年3月に発効し、研究プロジェクトの報告を載せている。また、2011年9月に、聖典研究の成果として『聖典と現代社会の諸問題』を発行した(キリスト新聞社)。
目標4	公募研究費の申請については、模索中である。
備考	